

180

=

二十四番歌

廿三業

調



廿三業

永淳 年片

凡例

近年歩流益々繁

て聖人の跡を志す

北園の中西園東北四

巡拜の業多し

南都乃本極多

林舎をふり

の園を乃江を志す

越後新島田より

信濃路を往く

或は下野乃宇津の

昔人多く而地少人稀
あり南部を指するは北四
葉才十畝是信州坊の遺
跡にして祖師聖人の自作四
十二才の浮木縁の末葉の
光明宗の美葉の跡教を
外にまじりの宝地數あり
是をお禮せざるは錢金あり
あり平北園より實束とあり
唯路香細よきして末葉の
者乃便りせん

越後國新長田の奥の
新長田乃本坊とあり行程
八十七里也下わりの末葉あり
松崎とありそは仙臺と
五十一里仙臺よりけし相念
蓮性寺とあり四下下極念
より常陸乃今伏松入寺
より九十九り下下有越後新
長田の今伏松入寺とあり
百九十二里有末葉の跡あり
河の越後芝田よりけし相念

と二十ニリと云ふる高田より
信法路を經く宇はぶと
凡百五里余宇はぶと今法
願入寺と二十ニリ廿四丁郡金田
四十九里有きと云ふ南紀と
と云ふるは南紀と云ふ
る所は南紀と云ふ方
早より程を南紀と云ふ
と云ふ出羽乃南紀の地又
日本才として南紀は南紀
景地と云ふ南紀と云ふ

南紀より仙臺との海を
茶をふし不自由加は
もふくろ福廣く仙臺と云ふ
と云ふ南紀と云ふ東海にも及ぬ
百九十九里仙臺より南紀と云ふ
久岐と云ふは仙臺と云ふ茶
も南紀と云ふ東海と云ふは
南紀と云ふ方と云ふ南紀と云ふ
南紀と云ふ方と云ふ南紀と云ふ
南紀と云ふ方と云ふ南紀と云ふ
南紀と云ふ方と云ふ南紀と云ふ

たどあり

北園海道の馬住り宿とて

ごも治所とておのりつら

其下は海ありて馬の上り

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

△中分る方へては往る所

とくまを^かと^り統^り二^まか^し
おま^りま^りぐ^り茶^のあ^らふ^らお^え
の^こ湯^のあ^らひ^の茶^があ^らふ^ら
か^らま^りつ^ら後^に入^るこ^の湯^をば^ら茶^と
と^らふ^らま^りつ^ら茶^のあ^らふ^ら
之^もも^の向^の茶^のの^の湯^のあ^らふ^ら
信^の濃^の茶^のあ^らふ^らの^の湯^のあ^らふ^ら
時^に越^後高^田の^の行^を法^十八^り
善^光寺^のの^の田^をと^らふ^ら
城^のの^の村^のも^の湯^のあ^らふ^ら
と^らふ^ら魚^のの^の湯^のあ^らふ^ら

凡^そ六^つ六^つ里^の後^に乃^はあ^らふ^ら
一^越後^のか^らの^の村^の湯^のあ^らふ^ら
山^のの^の中^のの^の湯^のあ^らふ^ら
甲^のの^の湯^のあ^らふ^ら
て^は湯^のの^の湯^のあ^らふ^ら
油^のの^の湯^のあ^らふ^ら
八^のの^の湯^のあ^らふ^ら
く^らは^ら湯^のの^の湯^のあ^らふ^ら
ケ^レも^の湯^のの^の湯^のあ^らふ^ら
と^らふ^ら行^を法^十八^り
同^村の^の湯^のあ^らふ^ら

乃、ころの角出でんよふたの
完わりのまよりある旨の御
玉らこの者のわざがなる宜
二、すなり程の竹の味はかき
すしぬ、さうすい火とほけ
竹の口へさし、其の味は
火をいさか、火をいさか
ふ、さうすい、さうすい、
さうすい、さうすい、火に
かん位、さうすい、さうすい、
はく明、さうすい、さうすい、

おれたも右の竹の味は、さう
緒向竹の筒の肉より、さう
はく、さうすい、さうすい、
はく、さうすい、さうすい、
右の家の中へ、さうすい、
家も、さうすい、さうすい、
火の、さうすい、さうすい、
火の、さうすい、さうすい、

一、園菜二十四葉、さうすい、
火踏、さうすい、さうすい、
火踏、さうすい、さうすい、

聞ても色あるの整て
行く等の損徳の
ありきい言乃順と
道の損あり
大曾根石下も
越く何と入寺も
く先に行くに悪
若江の方より
已行と進よ
金持新様
も不順なく

と越るも是又先
どのの悪を
を越るも是又先
下野國高田寺
行方か
行むるも是又先
損徳有或書
高田行島
是も損又
高田
よ教

大さな頂のりなる田はく冬下田か
るが近く冬下田は下事より
結城の初さあり一里下りて
一里下りておしる

北葦江戸の東流して江
の水路別奥より記相念
より日光と道法同の

二京より越前に出北國路を
より出羽國より奥分南都
を經同は松屋同棚念を
巡り下野常陸上総下総入

北葦江の跡残り
かんどり日光山とより江戸に
出るはと道法九五百と積置
十八下り

京都堅町の事

寺は幸致至富柳坂町

わい乃東に東島丸

あぢ家衣新町冬一の事

西乃小川小油堀川

菴屋猪熊のちのち門かど西大宮也

松五日ごにちくく西にしの十本

同換町乃寺

丸まる老竹らうちく多おほじ寸二条にじうじょうに押小路おしこうじ

少池せうち乃姉のあねの二条六角

情錦じやうきん四条乃のよじうじょう後のち乃のち松まつえる

るま过り行ゆはは乃の桑かあるあ乃の条じょう

寺乃内上五过ごかりまま由ゆの町

今いま出で本ほん括くわ言げん武者むしゃ者もの乃の一条

中ちゆう立たや上かみ中ちゆう下しも乃の長者ちやうぢやう町

出で水みづ下したままよりよりにに堪た本ほん

親おや善ぜん鳥とり聖せい人にん北きた四し輩ばい巡じゆん拜はい記き

京都

大泉寺

西洞院万葉ある
月見町

五條ごじょう花はな浮うきき考こうるる佳よ徒と乃の阿あ弥や池ち堂だう

極ごく多た月つき又また松まつ日ひ月つき又また池ち日ひ難なん殺ころ多た

日ひ腰こし体たい石いし庭にわ乃の介すけ宝たから物もの乃の寺てら

里さと乃の仍さらくく所ところと月つき又また所ところ乃の寺てら

妻つま乃の縁ゆかり起おこるる乃の寺てら

池いけ乃の水みづ乃の寺てら

山宗泰院

知恩院ちおんいん乃の寺てら

宝物 沖田の末孫松乃孫陸

沖田の西の子甲十二丈の自後沖田の

田屋敷乃のありありありあり

京の俊成を將二里 雲母坂の村

比叡山

根守中堂 田舎十丁

正勤寺 田舎十丁の坊に沖田の

田舎の宝物用の上人共の末孫沖

自作の建七寸余の法をの経緯

△坂本 田舎者 茶やのり

山王様殿乃社をまつ

苗上康村 雄子村

△金沢 田舎者 入り

美野村 田舎者あり

さねの里海乃方堅田乃

△中津 田舎者 千騎松安並五

由下位を石をくから長方あり

△小野村 田舎者

△横濱 田舎者

中濱村 荒川村

船路村

△本戸 田舎者

大物念仏寺 西流

上人聖身明宣坊用奉之宝地寺、

わりの市を四間とつる

比良村 比良天林 南小松村

△小松 田舎者

打方一村 名不之

甚深 家勝寺 蓮峰寺四跡之東流
中堂五間六尺寸

鷲川村 白髮の神社者

甲八鮮村 行基作石佛
二十五鮮者

ニリ 大溝 聖王分於年人正夜

長田村 加茂村 西之村

わし川 名不取後

三リ 河原市 泊有

南市村 今市村

一リ 今津 泊有 貝津三リ取ても
仍仕立和らる人

傾家村 深清水村

新保村 沃村

ニリ 貝津 泊有

小荒井村 ともや村

家乃上村 大乃之村

千原村 園境村 是にて
之に

ニリ 山中 泊有 越前國

丸乃方 経筈かけ松あり

荒血山 石をよみ山開山
越後守ありし乃山は仍ほ是
是よりしあは海あり

一リ 馬口 泊あり



逃分 茶壺者

△^一曳田 ゆり 沙り、と江ふりり、
長淡、ゆるり

一乃信村

沙り

△^一道ノ口

△^一敷

四家年一城あり大深之
世安町あり泊あり

氣比社 けひのやしろ 本國七ヶ園の惣社

徑曲村 けいまがり 茶壺とて知らり

△^二磯原 いそはら 池あり茶壺あり

△^十新保 しんぼ 日あり

本乃同保者 ほんのどうぼ者 以てる人家

三ツ谷

湯や茶やあり
越前入り茶やあり

新五村 かつる村

今も古くあはれゆき
新進方者茶乃り之ナリ

今ノ文 然も宿治り者

九方山皆
ふたれあり

湯尾村 練婦子茶や里あり
何とも疵疾者物

湯尾 湯や茶やあり

新波 湯や

粟乃これ村 然も茶やあり

服茶 湯や茶やあり

今ノ宿 湯や

松美村 茶やのりあり方よ
川水あり

府中 町家多し抱所を
治り

柳原村 然も茶やあり

白鬼女川 湯や

上越江村 湯や
後越村

照津寺 越前四ノ中寺也

越江 湯や

誠照寺 越前山門院の
本寺也之る也

寺一先家福也
一先より也

結江出たがまに石橋有る云々
掛内四段の石地蔵の寺也

永春

油者茶やあり

寺の明の所

本吉山
万法寺 本寺と同の寺方許也
寺西の寺の本條あり

淡水

茶至あり

今市村 八梅 茶や有

花堂村 茶至有

△福井

城下町の内一里を
伯あり

専照寺 寺門後本寺本
寺十二の四面

本四
儒宗賢 寺社上人の流刑
あり

寺形は乃室物なりくあり
而よりそ形あり

東平坊 本寺十九の四方
寺丸住

美宗寺 西流
本寺九間三十一

和山本寺 西流
本寺十間三十九

西沙坊 本寺九間四方

牛鼻山自宗寺 西流
本寺八の四面

右橋への之園、寺ありても少く
福井より之園、五里

之園がより橋、松路二里半
地の二里後井、右橋、八里あり

之出、寺ありても少く
之園、和州の寺ありても少く

ありては不出あり、和州
寺ありては五里あり

後久村 いさごが加賀國
白山の村

△^リ船橋 泊有 入口は船橋の石橋
軍八艘の石橋

船橋の村は程約七石の方知の村に
ありしとす。二回四方不逆を以て
杯柱本有是の果元とす。二月下旬
より翌年越後山下向乃内山里村家
長者の長者乃方とす。日比連五の
是時其菓子とす。方ついでに楊枝と
をあげてす。いさごの村に其菓子
よ於る。其の此福根根菓子とす。
のふさふさい。一秋乃らり。福系
生也。いさごの村に後田細とす。
て其氏たる。其の功なり。其の
いさごの村に

△^リ長湯 ゆり

五ヶん村 葉巻者

△^リ金津 葉巻者

新庄 葉巻者

久末 照嚴寺

是如上席田の宝曆年中向村は取川地

坂口村 葉巻者

蓮ヶ浦 花入あり。一。一。一。

△^リ細呂本 柏井乃実所あり
越中か加賀の境あり

のり 藤坂とす。上人の寺

のり 身乃行方ハ公ハ寺あり

△^リ古碕 秋のそらに海をみる
か乃海をみるのゆあり

東寺坊 山堂八間四方

宝物堂。山自登乃依
カ。其の上乃ふ。其の
腰のゆあり。其の
ゆあり。

吉之橋



西沙坊

立死茶屋

茶や八幡橋を伝ふ

系し

立死

大聖子

西山田村是ハ御朱のた、入は村
 道師乃此子孫武無婚さふ者有
 宝物いろく有道師は金を孫
 あり大聖子と出さる道師ハ
 行たの方さよといはる坊
 なる一十丁又西山田村といは
 云取出さる孫、行西山田村とい
 出さる大聖子といはる西山田、
 一里西山田村
 いろく、一里

三ツカガク
△^{三ツカガク} 榑 泊り

修生寺 道場

岡の上へ入る石より下りて、此の道と
をたぬき、うきつとて今あり

おろし村

△^{一ツ} 月津

うき村 養々 今泉村

△^{ニツ} 小松

本尊寺

東流院 本尊寺 九郎
西の四郎 せきせき

△^{一ツ} 寺井

泊り

△^{一ツ} おと 泊り

中ノ川水 浄土の川下 瀬海流と
重宿 渡瀬 舟有 舟無 舟有 舟無

△^{一ツ} 水崎

泊り

△^{一ツ} 柏野

泊り

右に素狐十日づつ馬つとて
うき村よりかかえ、入るおと
は、此よりおとより、舟かかるとある
不承の物

△^{一ツ} 松任

坂本山本 松任

院 東流
山を九間四方

布市村

是より右に、泊り
右に、一ツ

由村より、空に、二ツ
を、行と、二ツ、泊り、と、うき

△^{一ツ} 全 沃

か、入、及、内、城、下、を、泊り
内、一、り、余、り、右、の、物、あり

柏野と入切をわたりて北に下りて一帯の地を
たぐり切子ふるははくはては東に下りて西に下り

東河坊 平を廻る北に下りて西に下り
北条茶田あり

西河坊 平を廻る北に下りて西に下り
北条茶田あり

安江本所
東河坊
平を廻る北に下りて西に下り

同本志松上人

二又村本志松上人より下りて北に下りて西に下り
跡をたぐりて北に下りて西に下り
二河坊平を廻る北に下りて西に下り
中河坊平を廻る北に下りて西に下り
下河坊平を廻る北に下りて西に下り

夷本村 二日市村

老田村 中条村

つりまきも茶也

津懐 津懐
坂あり

竹乃橋 北に下りて西に下り
北に下りて西に下り

くろくろ 北に下りて西に下り
北に下りて西に下り

くろくろ村北に下りて西に下り
北に下りて西に下り
北に下りて西に下り

一月十六日勤

石動 北に下りて西に下り

北に下りて西に下り
北に下りて西に下り

立野

千保川あり

立野

大とん村 釜金あり

た川 船に上り舟も有

△小 船 船に上り舟も有
舟も有るものあり

安長坊進方 米あり

富山入にまふ

神通川

船に上り舟も有
北川一と名なりふくま川に

△富山 船に上り舟も有
船に上り舟も有

船に上り舟も有
舟も有るものあり

新井山 船に上り舟も有
舟も有るものあり

△梅江 船に上り舟も有
舟も有るものあり

船に上り舟も有
舟も有るものあり

新庄 河あり

常願寺川 船に上り舟も有

△水橋村 船に上り舟も有

△滑川 船に上り舟も有

船に上り舟も有

船に上り舟も有

△魚津 船に上り舟も有

船に上り舟も有

濱田村

高純山曝福る

二丁葉敷思うり
別と云そ七回やゆ

かみ川 ぶせ川

つらきも
からほり

三日市 泊りあり

徳法寺

三本松山四跡をせ回る
は腰掛石 舟本門あり

浄承寺 小堂五回ある

二日市 十町身入へ又二日市
ゆりこ二日市 小橋海をを行こり
徑邊 高松川 舟津敷多し 六月
ゆりおる といふ 一長上世に

浦山 泊りあり

ゆり 橋おねり 橋と云き午

相ふ村 茶をわり

船見 泊りあり

尾川 歩りあり

とあり 泊りあり

さふ村 冥ふのふあり

越中 坂好乃 珠え
さふ川

市振

親あふ子あふ 海きさり
浪きさり 舟あり

ゆり

外浪 舟あり

花就大をち 東流石を
六河川

田海村 西蓮る 西流石を
するせり

あま川 せり流り

△海 海方

娘川 北流一乃
子川也

娘川海方の所にも海名は伝を傳せり
流る娘川北流なりといふ所はたゞ不
詳

△川 せり流り

やま川 せり流り

△飛 せり流り

早川 せり流り かたが
鬼谷村

生川 せり流り

△生 せり流り

浦 せり流り たが
川

△名 せり流り

下名をよみてよみたるをよみて大地をよみて
今も余男を二人余一人も残たす

錦浦 水掛坂 茶や

△あ せり流り

いふも未だ大地をよみて山ありとの
西川にりする水はわつては常押込
よせよふとせよは後よりよきて存理す
水水より押流りあふみの切は
今も至暦五年又右よりありて

△長濱 越乃長濱とく
右にあり

安南の國方と
二七五

五知如冬老
十二百七回
未白

鏡乃池
用山と人けはを
山にふととらう
山自傳と山彫刻をう
まうる

まうる

御用山
二十七
山本依

善信金
上人山居室乃
跡あり

大座り 赤岩
秘

△五知 茶金あり

御用山

光源寺
山を七回
沖功と東流

祖師上人五多山遠五乃山四
室物聖人山自益乃山教以教
むらひ山をさひのづと感法と法
うらひ乃山教

山を七回
沖功と東流

△中五

△高田 林京式部を捕及城

笠原山本持寺
東流
山路と

山家八ヶ山を十二回
之方縁九人

津真寺
山を十五回
東流 院家

中戸山常敬寺
山を九回
九人

山家二ヶ山を名号祖師法作
山を十回と名御之

東市坊

境内宝曆四
川城より下の

井波園瑞采る 本堂四面

二万餘石九尺下

後小松院勅所

此宗寺乃奉先子記

熱令川浦倉田安塚上方

大原 免平 住持坂須川村

二十四輩

後鳥院勅願所

板倉寺 覺院願教

ち修二十四あり

宝物

祖師取入御木像御自作
六字名号如信上人御作

本寺より東寺号聖人山系祖師聖
人御頂骨山御免新川流判

五智園方寺より小丸山十日

堂首光寺 性宗寺の系

猪の先 住りる田より

か 善光寺より中須

し 中須から飯山より

く 小川 飯沢 須川

善光寺より飯沢 須川

十六の須川が村後より

飯沢の飯沢住持の境

後下より安南より

十月の月名を御守り

今く須川より安原浦川
 やけの津系より所杖後とび
 高きところへ下りて

越後國を甲より信濃を去る
 ナル余の記をよむ事なりや
 又津路唐の言に松代を物と云
 沿西原なる所の長きと云ふ
 沿河原なる所の長きと云ふ

△荒井 ゆるがねなるに人
り海々々

荒井坊 山寺よりなるに
ナリ

△松塚

△岡丸山

△二又

△関川

町をぐるに關和のり
越後信長境

△野尻

△柏原

けりより立かへ山五リ
山より難なり

二山葦

枕石山願法寺

宝物

善光寺分身如来 聖徳李威徳松
祖師枕石序不像 序及八段自作

祖師越路序影 序續祖師給露坊
此外序本山如記録 序公倣記之

此ありより善光寺近道三重

△牛乳

△あし町

△善光寺

二王門山本堂八分九寸有
 四十八坊有天台宗の内十五坊書卷
 堂照坊

釜字風城名号を人山系

を人山系ブー入

若きとより地味ましくニリホ

新集セリク

丹波鴻 二リ 志の井

丹波鴻 米鉦村八丁

一重山唯念寺

庚未也

西派園臺西佛坊

法眼寺を平山始テ平野と

地味志の井、海

地味より更科狭控を二リ名

志の井 二リ

松代

志の井 二リ

柴

二リ

川田

綿内

二リ

布野

ふ乃川と川ちくは川二つある

布野 二リ

長沼

西巖寺

南堀

長余寺

善光寺

善光寺

一り余

善光寺

若松平城下にかつら六地蔵あり

まろ
稲荷山 泊り

二リ
おろ 日

二リ
音研 日

二リ
あざ 日

二リ
おらう原 日

二リ
岡田 日

二リ
松平城下 日

木曾山長祿寺 未流

祖師越後國守五年在任乃其
旧跡二十四比車墮一義延房念位
俗名木曾義基乃未孫實如
甚如女上人行化乃靈瑞中古
越好より松平に後信と祖師
仲安重のつとこの平もふん
五子仁乃仲義其外寶物
多し

大室山正行寺 西流

祖師乃垂身仍く本より縁入
るる智の用基今ハ西平義も
乃師坊あり祖師よりつれ
たる四子仁の西義あり
在松平より忌田へとも

保福寺跡あり

一リ
浦母

三リ
中々條

三河神社八幡宮の社

祖師並才徳信の母後也

源幸扶三河城或坊之

祖師ヨリ下されり

九字名号

十字名号

三方正面阿弥陀如来

此六字名号 浄土和漢の

教如聖人 師究

琢如聖人 日

日の丸此名号

親寧り聖人四十家御本傍

二俣の竹此所室知所くを

建曆えの未善の申の

此追及し比たより

一リ
坂本

二リ
戸倉古

松代築とありくへ

長史にあり越後守田のりとのる
今十六の余戸かしくいふれは
余史のあんふく
さ田のりとのる

越後

高田

掛本武敏を懐成下
あし出

性宗寺

松本武敏
室町参入高田死

小丸の五年に退るの由記

いし若堂の由記は衣笠山年

二十五の傍に勅の由記衣笠

掛のよまの由記

於越後配一所笠鴨國府益之

承え丁卯年五月二の善信

右の由記乃上の方よ

多由也

為懐村

千日堂をさるるを懐村に
懐村に世年と身淨とまふ

大曲

今町

懐村町に在り

溪川

舟橋

黒井

泊あり

小舟渡村 ともぞら村

行町

くと村 かんこ村

栗山寺川

橋あり

上下流 のふと流

柿橋

いふと寺泊のふと流余加も
有柿橋のふと流

淨長寺

西流の傍
寺を九つ八間

扇谷山淨福寺

東流の傍
寶山越の名号
淨福の傍

聖金寺

神傍の傍
わし乃かまやしをり

八ヶ岳

ゆるり

越後乃園野

栄山坂
まが川

龜より坂

作茶の傍
か作しをり

風鶴村

近江川村

わさ川歩坂

三ツ
△ 練波

ゆるり

いさ川

名あり

二ツ
△ 柏崎

松平越中
松崎の傍

わさ川村

わさ川

二ツ
△ わさ瀨

ゆるり
ゆるり

△ 宮川

ゆるり

△ 推谷

ゆるり
堀大膳亮の傍

大橋村

大村の傍
二ツがり

京ど川

お世川
香湯

△石地 ニリ 終る所

△出雲橋 ニリ 終る所

おき新田 水田村

何とも後會して往きとて
わらふ砂地續く身と行

△黒田 ニリ 沖り者

大和四村

△寺泊 ニリ 終る所

弘和年中の海邊と云り
終る所

一更なる門乃ある所乃傍に
名所極多あり

弘和年中の海邊と云り
終る所

二条、並、終る所

六リあり

寺泊一リあり

終る所

△二条 ニリ 終る所

東少坊

加藤、終る所

△加茂 ニリ 沖りあり

川和村 萩京村

吉田村

△田上 伊予

田上入は小坂と城てか新法よとて
十町あり入つたが稲田の地を境あり
をあつたが地ありありあり
湯川村に五丁あり小坂と城
を乃湯子出井水二丁あり

右津村

△新津 是田馬つた

がくやん村

地りあるありあり
方ふへ

り村大七とつたやれの家大り
あるありありありありありあり
ありありありありありあり

一ツ井 兜嶋村

△保田 梅乃木大木

是田海を又奥あり
今ははるも行

孝貞寺

今度西本町あり
本寺なるありあり

くろく村

保田より一ツ井

二ツ井 下条村

一ツ井 信守寺

是田ありありあり

北四草才士墓

三ツ井 高倉野村

北園山鳥野院西方寺

本寺ありありあり

さきり乃北四草才士乃内八竹宗村
保田よりありありありあり

津光寺 西流 本寺三十三回

美浄寺 事流 本寺三十三回

浦系 金波山浄光寺 西流 本寺三十三回

△大町 沼 浄光

△リ 本 戸 ヨリ

△リ 天 くやヨリ

△十 松 ヨリ

△リ 右 丈 濱 ヨリ

△リ 右 丈 濱 ヨリ

△リ 余 カチ川 歩流

△リ 二 枚 橋 ヨリ

二 本 枚 村

さ 々 本 村

因西あり南村をみるものをも
あふくす作の取巻可也

△ニ 新 後 田 城之 溝口出せり

新 江 山 龍 明 寺 余り 本寺あり

△リ 加 治 サセリ可也

△リ 加 治 カチ川 浄光

た て 寺 村 金 山 村

△新 浮 入海之家於此多可なり
いふに松を船より行

津光寺 西流
寺をさるる十四

美浄寺 東流
寺をさるる二六〇

△金波山浄光寺 西流
寺をさるる二六〇

△沼 堂 西流

△木 戸 西流

△花 牛 西流

△松 橋 西流

△石 渡 西流

△老 渡 西流

△三 枝 西流

二本枝村

さく木村

因ありの畠村をさるるものをよ
り入るる所を収録す

△新 後 田 溝口出せり及

新江山 龍明寺 余り 寺をさるる二六〇

芝田より南にあり

△加 治 寺をさるる

たてを村 金山村



川

○

北嶺
加區三
田
水
田
田
田

田
田
田
田
田

村
平
田
田
田
田
田

田
田
田

田
田

田
田

田
田

浪
三

○

田
田

田
田

田
田

田
田
田

大松

△中条 流る者

黒川 流る者

△三好川 流る者

さう田村 流る者 栗橋川 大川

△平林

△村上 内蔵紀伊守及部下 流る者

宮下川 流る者

△猿沢

△塩乃町 流る者

不動川 流る者

△不動 流る者

平河川 流る者

△大沢 流る者

△黒川 流る者 中村とよ

△荒川 流る者 比古子中

△中沢 流る者 と黒川 流る者

△大沢 流る者 水と流る者

△おろし 流る者 田村 流る者

△尾田 流る者 勝不和云流る者

△木のほのぼの

△大川 流る者

△梅原川

△荒の園 流る者

△猪代 流る者

△三津 流る者

△坂本 流る者

△香海 流る者

△田中

△三津 流る者

△天山 流る者

下流とよみなる砂山のあり海まで、
ゆりゆりなる地へ

△濱中 流る者

いふも流るる無川家あり海まで
新坂田より有船海へ又流る

△坂田

人家入り新も有る

いふゆりゆり無川家あり海まで
此不ニ一岩せりバありゆりゆり
流る川ハ子流るを去る流る
制りあり

△小みさ川 流る者

いふ極味ありありなるわきえ流る
うれて有るありなる水とをりあり

△吹浦 流る者

名流村 柿の浦村

△女座 流る者

大津坂を流るはいふ山の海まで
弘法大師切身を人不動をり

△小砂川 流る者

国村
むやく入国をり

△木のほのぼの

△大川 海に注ぐ

△松原川

△嵐ヶ岡 海に注ぐ

△猪代 海に注ぐ

△三ヶ村 海に注ぐ

△坂本 海に注ぐ

△平海 海に注ぐ

△田中

△三津 海に注ぐ

△天山 海に注ぐ

下流よりなる砂浜のあり海を、
ゆりやんふ砂浜と

△濱中 海に注ぐ

いそも砂浜なる魚川家より海を
新坂河川より新坂海へ又流る

△坂田

人家入り新坂も有る

いそより物産園なるもの
此所ニ一名せよバヤウのり
魚り掛ニハ子形なるを表す御
制りおあり

△小みさ川 海に注ぐ

いそ橋師の所なるもの
されて有るありなる砂浜水と名なるもの

△吹浦

海に注ぐ

△名海村 柿の浦村

△女原 海に注ぐ

大津坂を流るはいそ川の海を
弘法大師切身をうへ不動を

△小砂川 海に注ぐ

いそく入り園なるもの

△^{ニリ}本庄

城下

此庄在る入ル然在平庄ノ南勢
岳岳西の社家も有て村方まるとは

岩屋村 ころごん河

中毛もり村

わし沢村 ころごん河

萱ヶ沢村 口の口

山と越とていふは
又中と越山田村

△^{ニリ}水乃目

川の川にわけてし川を越
秋田の里家ありふ形なり
岩屋と改高人岩屋より入
投後と云

△塩越 海濱

名浮名不終ある八十八郎半
久保のりいも母はる未だに二歳
而久保く信り切
かこゆりる

△こ乃浦 海濱

長門村

△せり田 海濱

むすび門 くらぬり

鈴村

△平沢

いんむ村極疎の合はあ方より

△本庄 海濱

はあを在るへん 然る本庄もあ
是、あめの紅家も有て村方ま

岩倉村 くらぬり

中もむり村

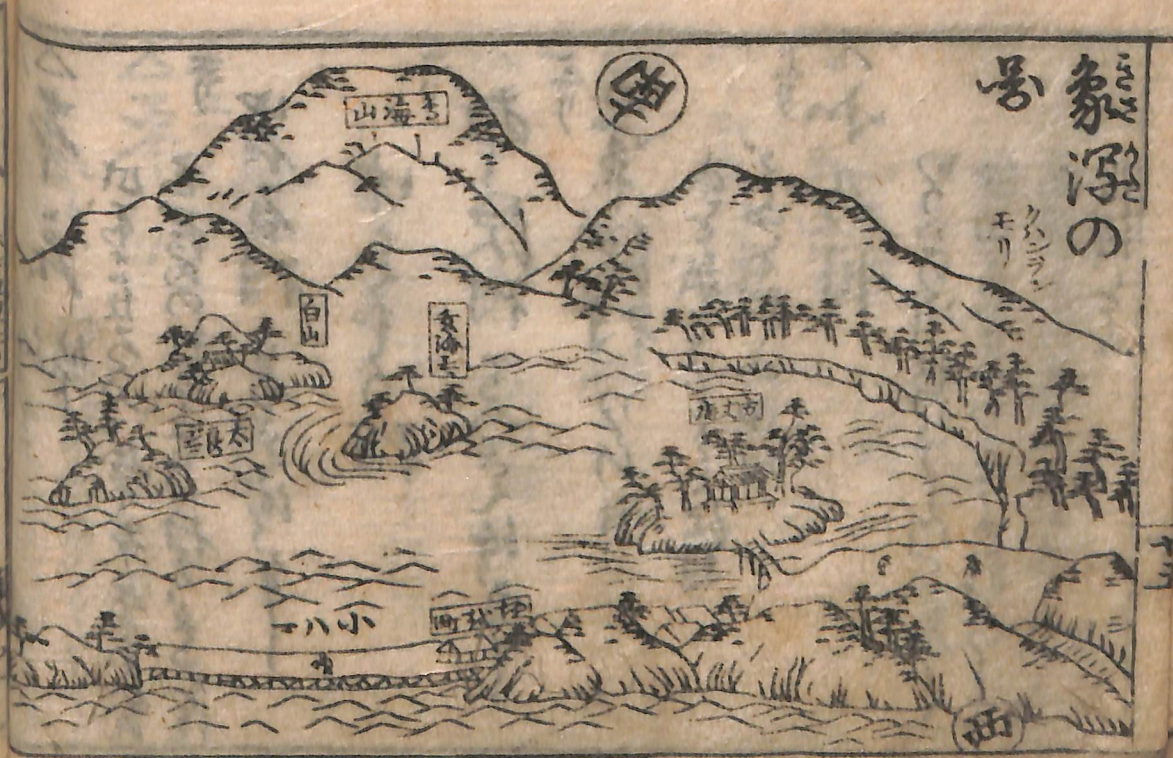
わし沢村 くらぬり

芝堂 沢村 くらぬり

ふと越とくくくはむ
又ゆと越山田村

△小乃岡

りいり川ぬりし門を越く
秋田乃実あまふ形のり
考ゆと改高人考あよへん
投後とあ



△^上カハの^下ゆり者

カハの山口は橋有まより原へのゆりのゆりて在の方、行く系をたたが、
イ系と下してうの村、小枝村川者
柳沢村八割村坂とこてた、杉真
任の城治有角鉾川より取る

△^上六郷

△^上六郷
真澄寺 西原寺 九月七有
家相いろく者

△^上角^下鉾

△^上角^下鉾
能町中町系をたたが
生保内園不取出る

△^上別田村 玉川 船渡

△^上生保内^下ゆり者

△^上生保内^下ゆり者
本系が海をさり、同系は波和東
ゆりゆり者

△^上生保内^下ゆり者

△^上生保内^下ゆり者
此羽田のゆり者、毛糸石其の
以、山にゆり多くて、ゆり者
ゆり者、東の系、城下、東のゆり
又、ゆり者、西の角、結、松、小、五、山、
ゆり者、下りて、川、渡、ゆり者、
ゆり、川、と、な、ゆり者

△^上橋場^下ゆり者

△^上橋場^下ゆり者
ゆり者、系、ゆり者、ゆり者、ゆり者

△^上水里村茶屋あり

△^上糸石

△^上糸石
ゆり者、系、ゆり者、ゆり者、ゆり者

△^上夷田^下ゆり者

△^上夷田^下ゆり者
北四重寺あり
石夷山系ゆり者
余り、ゆり者

工人の自作の木俵あり

△^三津野町村 見赤村

十日市村

△^四郡山 御寺

本誓寺御下 輪蓋 永光寺

室西の岡の山子阿沙路 五振子二重の石佛陀仏

下町 二日町 日詰町

河まきも新ふり用りかた ころまきて者

橋町村 ワトト名

大倉村 小倉川 御寺

△^三石どや

八幡村 小瀬川 岩俵

△^四花巻 御寺御下

是の寺々々南の江戸に建てる御 寺の石のわきこも北の川なり

娘つる村 日詰町の御下 御代りの御寺

白かじ村 十二重同村

千の沢尻村 忍川 御下

△^三鬼柳 御下

是の寺乃同のわりの寺 寺の御下

さいり町 是の寺乃同のわりの寺 入の御下

子持村 三ヶ尻尾村

△今より磯

いさ川 ねり

△水沢

△前沢

二日程行て衣川村たこの名也
有衣川之宿有之館乃城也
たこの有衣川平の城は衣川の名は
此乃宿門之宿のる名也

中尊寺 三ヶ尻尾

赤松社

三ヶ尻尾のりく有

△山乃岡

い玉井川 土橋入す之間

一乃岡所 仙臺家長城下
田村左京右史友

これさね野山人家

△有之

せ乃村 人たわむととも
休あす

石乃有 御村しつりりか
今もま長次が四代

△今成

△沢色

京野村

△山野

いづ井川

古橋又十二之間

一乃園所

仙臺家臣城下
田村左京右大夫

これより野山人家

ニリ

△有也

せ乃村

人取むきども
休あうし

石乃方を御村しつろ方公奥

今更長次が四石

ニリ
△今成

ナリ

△沢色

京野村

一リナリ

△官野

雨場村

△月立

△高湯水

八幡村

△田尻

△年釣

△松山

かほま村

たさや新町村

是より松崎峠を
入ル

松崎峠を乃て終ん

茶や有

茶や有

是れを越て舞々茶や一軒有以てあり

富山観音

大佛さとしふちありけしなより松崎の
系四リセハリケガカケ、ふゆと西日本
をぬり終るは松崎乃系以てし
アツガオ一松崎よりけしなより
是れけしなより一入に終るあり
廣き系よりあり松崎よりけし
なよりあり一入に終るあり

△高木

松しぬ乃田ありけし
茶やあり

△松嶋

後まきりし松嶋をここや
わりののちしに二階段あり
在ふがし系をここ入り終
系を紙よりしりし

松竹の巻
四里
七八里



三十一



瑞岩寺

律宗 寺

松徳乃嶋、不砂石徳乃り
寺より松乃りなる大徳寺の
寺あり

海上

松島ヶ塩、海上二里あり
陸体もなる、海上徳乃り
うらむり、大徳寺あり

塩の取

此の町へ塩あり

町乃り、海上陸あり、塩あり、徳乃り
なる、方なる、徳乃り、徳乃り

市川村

いふ、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り
乃り、乃り、乃り、乃り、乃り

今市村 茶やわり

案内村 以り

湯乃り、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り
乃り、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り
乃り、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り
乃り、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り

二丁四葉才士

秣念寺 西流

仙臺、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り
乃り、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り

四丁
△仙臺

仙臺、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り
乃り、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り

汗丸川

徳乃り、乃り、乃り、乃り、乃り

△長町

徳乃り、乃り、乃り、乃り、乃り

乃り、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り
乃り、乃り、乃り、乃り、乃り、乃り

三十二
菰訪町 足直町

名取川 云傍 百七の宮

あさくさ川をたよるく
やぐ

△中田

は茶色ニリ名取村並に村並に
神社の祖神社あり

△増田 仙臺家伝地ト

宿くろがまに竹くぬ神社有
西平たのむらむら

△榎本

△舟をぎぬ

△大川原

△今まう洲

△宮町

みずく川と傍ニツ
白ふ川と傍

△白石 仙臺は家伝
行合小すく下

△さい川

くろり坂 ぬふすこー
あり

△越川 仙臺の田をわくま取
はふくそよ

下田もの愛 ぬふあり

△貝田

その町はふ伊まの大本をぬぬあり
五里十里むらの平比田の下にあり

△^{一リ}友田

△^{一リ}こころ子 ととざり 杖あり

長谷村 杖あり

すまがみ川 歩道

△^{一リ}濃乃上

いかに金村 茶あり

△^{一リ}あしら山 り村

△^{一リ}あしらのやま り村

△^{一リ}福嶋

城 板倉内

△^{一リ}根子町 杖あり

△^{一リ}若宮 杖あり

△^{一リ}八丁目 杖あり

△^{一リ}三本柳

せい所村 杖あり 西長村

八軒茶屋

△^{一リ}三本松 城主丹羽若狭守

△^{一リ}まうぜん茶屋

△^{一リ}板田 杖あり

△^{一リホ}とや宮 終るや入ゆり

△^{一リホ}とる金

とる金より先くは宿くるは終る日ま
はくと宿づく細金

狭くの新田 茶金あり

淺く山 たりんは宿ありは
一茶ありは茶あり

△^{一リ}日和田 沖あり

△^{五三}福原 けり

△^十郡山 終る宿は母あり
粟より三リは浅き深あり

△^十小原田 是より平地あり

△^十日出り山 沖あり

△^{一リホ}さく川 沖あり

△^{一リホ}すう川 終る宿は母あり

△^{一リホ}笠名

△^{一リホ}久来石

△^{一リホ}久吹 夫吹の佃金あり
ありあり

夫吹の久吹より中畑村の久入
系なる衣はつきて系と下

△^{一リホ}中畑村 佃金ありの終る

△^{一リホ}系田村 けり

△^{一リホ}かほり子村 けり

△^{一リホ}櫻村 けり佃金あり

棚倉

城といふ名取内宿
六二〇石

宝池空蓮性

東流大四華
才八丈

日見(わ)り(は)棚倉(り)わ(り)は
夫(ハ)あ(り)て(は)な(ら)ず(に)も(と)も(は)
と(ん)の(り)を(な)ま(り)わ(り)と(り)
と(り)は(ま)あ(り)て(は)な(ら)ず(に)
わ(り)は(ま)あ(り)て(は)な(ら)ず(に)
一 棚倉(り)は(ま)あ(り)て(は)な(ら)ず(に)
ゆ(り)は(ま)あ(り)て(は)な(ら)ず(に)
と(り)は(ま)あ(り)て(は)な(ら)ず(に)

大宕

い(り)所

関岳

川と城川は(ま)あ(り)て(は)な(ら)ず(に)
と(り)は(ま)あ(り)て(は)な(ら)ず(に)

下乃宮

大子

う(り)村 山田村

開田村

全沃

願入寺

入口(は)道(を)と(り)て(は)
寺(が)あ(り)て(は)

如(き)上(へ)の(り)墓(を)あ(り)て(は)
大(な)わ(り)

竹部

慈願寺

才(十)五(丈)五(寸)五(分)
西(流)寺(を)四(回)ま(り)

馬頭

馬(を)終(り)て(は)

くふ津村 川者歩流り

大川 船渡り

△丈毛 白川から流る

野平村

△鷹山 大久保山城より城下

無願寺 舟十二丁敷東流

宝如いりくあり

中川 船渡り

大沢村 甲斐川に流る

就子村 舟十二丁敷の北とせり

照願寺 舟十二丁敷の北とせり

善徳寺 舟十二丁敷の北とせり

大岩村 舟十二丁敷の北とせり

幸田村 中居村

長々村

大なるひ村

南守村 舟十二丁敷の北とせり

野口村 舟十二丁敷の北とせり

すげ又村 舟十二丁敷の北とせり

大...
石沢村

常弘寺

北四...
東流

いさ...
の...
...

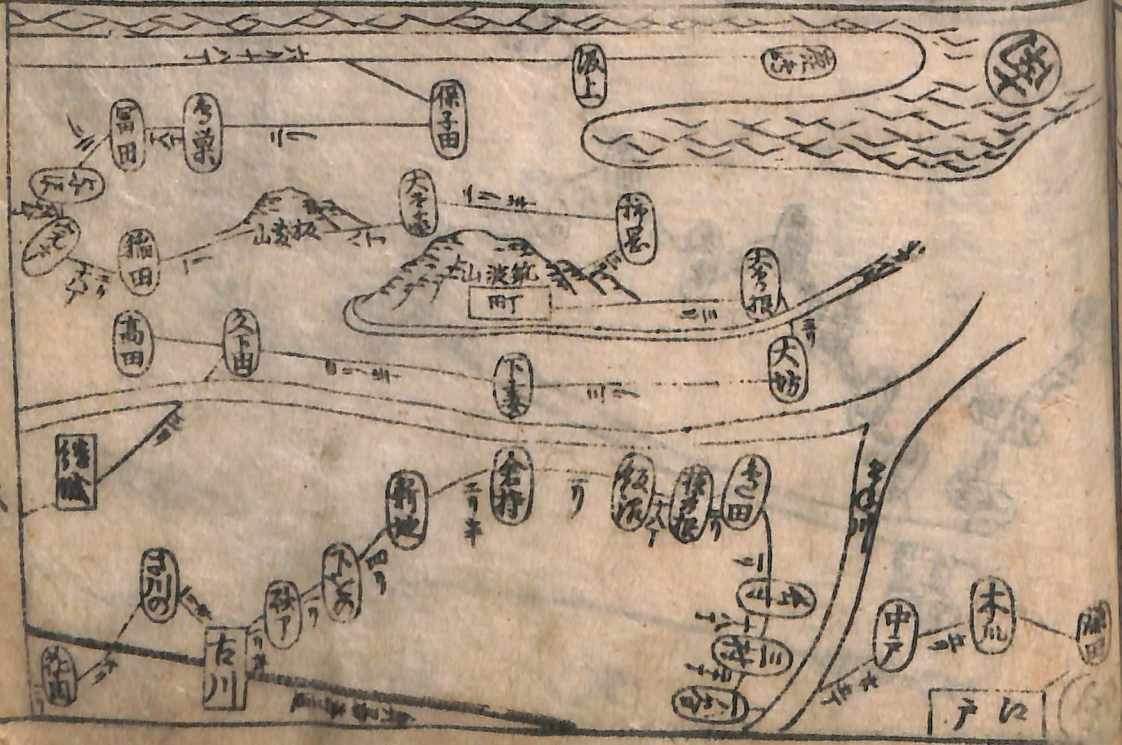
野上 本泉寺
北四...
西流

唯園...
...

東蓮寺村

東蓮寺
西流

東蓮寺村...
...



大...
石沢村

常弘寺

北四...
東流

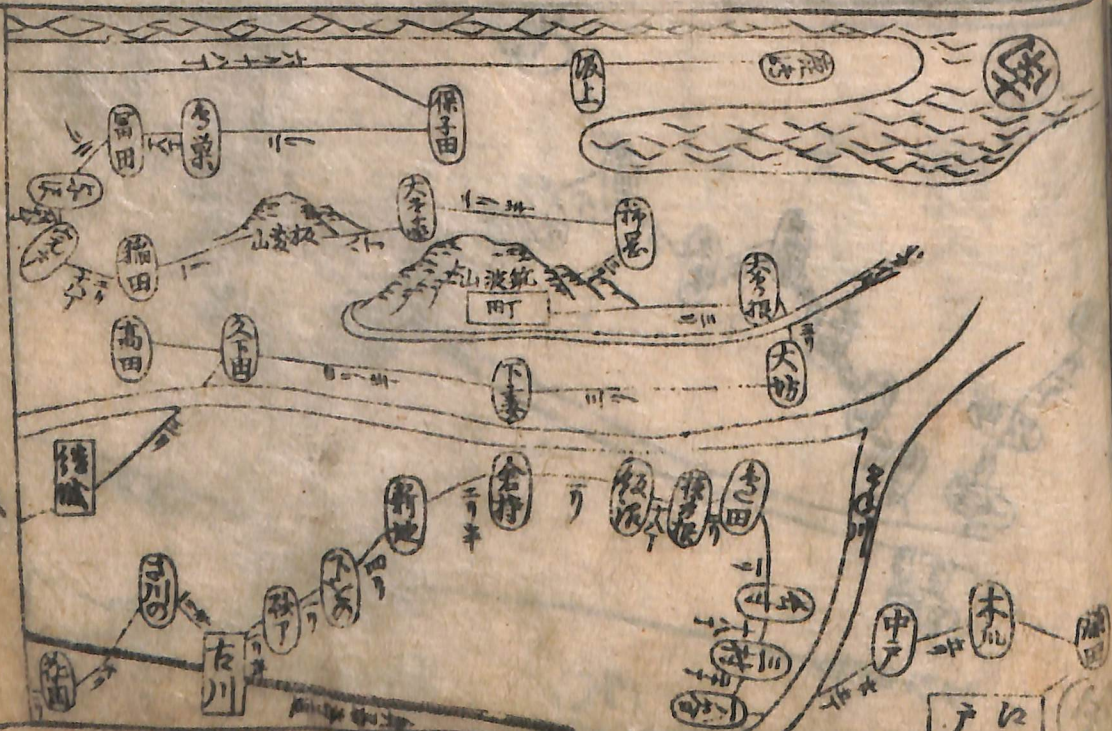
石沢より...
の...
...

野上
本家寺
北四...
西流

東蓮寺村

東蓮寺
西流

あり大門村より久米村へ



久米村

願入寺

水戸願入寺の
かひ不

大里村

海へいなりと云ふ
と系、わきり

天神村

久米より

谷川原村

才廿四

西光寺

其四系才廿四系
才五五

川合村

才十八

枕石寺

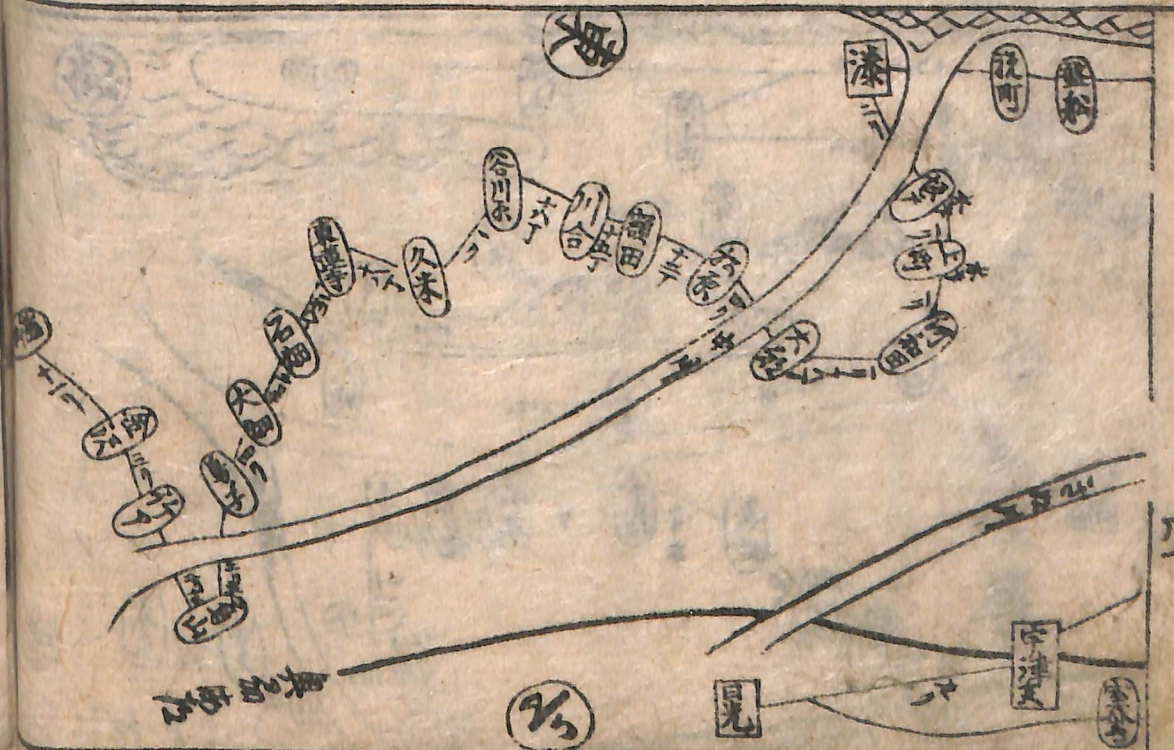
才十五系
才七系

くど川

和わ

額田村

才十



久米村

願入寺

水戸願入寺の
カクハ

大里村

海へいたわりの
を系、わ

天神村

谷川原村

西光寺

此寺より西へ
五里

川合村

枕石寺

寺十五里
東へ

くど川

私わ

額田村

才十

阿波陀寺

才十四
寺を七

松原村

才十九

上宮寺

才十九
西流

山依明法坊開基

才がむ村

水をくみり乃は

後登村

中から村

わが山村

大船村

美佛寺

平を舟乃道
北平集乃介

河田村

報仏寺

平を舟乃道
まの右の

水産上町

信願寺

西流
本を七

同下町

長重寺

東流内原
本を七

宝物之船借某乃経傳を人
山平子長貝水戸孫人の寺
を連たる所乾日所なる
外

湊

水戸に船舟入里

津光寺

西流
本を十

船多

町をくみり乃は
船多寺の領

願入寺

此寺然 本末六十一寺

寺殿之面在法を十八の里方 辛卯年

聖観音の古より役町宮堂 といふ者をあてゆり

破乃町

家数多し 海に近し

ニリ

ふつ村

麻竹も多し

ふさ村

茶田あり

ニリ

とみ山村

此村より麻竹、 くら地あり

いかにて麻竹、くら地と船場あり 逃方ありくらと物とて六吸上、 船場はあまの保子田行

保子田村

そら田送り同金荒野卒也

いかに麻竹入り入らるる麻竹 上と船場セリあり東南に くらバ松を用陸地と物あり

麻嶋

明神寺本社小向

粟石本社を依り二と一にりり 千後を人といふ人等

御子洗

本社は寅卯二と一

湯理塚

本神社後よりあり 又井乃りる傷も有

七井

御子洗 文下あり 二と一 二と一とやゆす

庚桑

ま言家

宝物麻嶋の神乃由縁赤を 子杖つとて後へ上人御子 湯田といふに湯出乃り 岩坊あり

ねほり
うすす 東南風はよく
いそ用

生栖之神宮
いそ用

香取
香取

香取之神宮

香取は係子田のねほりより
りきりも係子田より

係子田

ねほりより係子田のねほりより
近しゆいなるむらとれとれど

二
とりのの巣

五世聖寺

西流
西を七より

麻の女上りの戸懐乃切す
五のり

十
富田 原をさひをわり
くちり

一
世聖寺

東流
東を七より

ふは、ゆいなる多し東西と
あひいしふはしり富田と
ねほりなる多し富田と
ふは、ゆいなる多し

三
ふは

森八

宝おあし人い
わさ 善寺大師 光の品
二まこりー系乃上七八

ありわんろいともあひ
い徑石た方二智長八廿房
墓をあらり

二
小川村 けり原を

二ノリ 行金村 田舎の事

六ノリ 寺縁村

小岩村 上野の村

上野村 小泉村

三ノリ 東をた、り、り、り

完戸

城下

才九ノ長

唯心寺 東流

一ノリ

笠岡

城主野城守と後
城ハ山ノ上ニあり

二ノリ 稲田

聖人ノ子ト云々
地ノ事

西念寺

東流 笠岡

三ノリ 坂巻山

藤巻の神ノ方ノ上ノ寺ナリ
西ノ方ニあり井ノ
ガハノ水ノ極ノ上ノ寺ニ進
入ル人ハ杖ヲ持テあり
云々及ノ事ナリ
玉目宮 山ノ上ニあり
五ノリ 結城ノ事あり

六ノリ 大子堂 入り石ノ事あり

大坊村 山ノ事あり

二ノリ 柿屋村

如來寺

東流

麻生神社の神倉の上より水井戸
あり。分た乃方ニあり井戸
がら石水産極まり水舟進
聖人出杖移日石あり
こゝに粟石
玉目宮 山麓ありけり
玉目宮 山麓ありけり

二
坂敷山

稲田合中身初加さる乃を
ハ初又十丁後初乃後
後乃大木宮と云ふあり

分
大子堂入り石得者

大坊村 山乃あり
石あり

三
柿屋村

九
如來寺

東流

聖人其向は然由自筆
英多乃法衣の切たりし
タリ執いしことなるもの故
こゝへもまき入ぬる事ある
聖人沖平

リ
十二塚村

山と越余りて坂を下りて

笠波町

笠波町 笠波町
笠波町 笠波町

笠波山 男爵控現

女爵控現 わざとく控現

小系女控現 綿村控現

女爵控現乃より坂を登りて
男爵控現乃より坂を下りて

右乃乃川の男爵控現坂乃
四不動寺乃石仏あり
女爵控現乃より坂を登りて
男爵控現乃より坂を下りて

中禅寺 親善堂
やくしを

右乃乃川をぬりて又後坂町
下は山と上は下りて山よりあり

リ
小條 町

リ
大曾根村

事流車を
うり四方

大曾根より大坊より西へわが
うり四方

リ
大坊村 石下村あり

東弘寺 東弘寺あり
山をぬりてあり

玉川

ありい難し

△^三 結城 水野日向子屋敷下

北にやま才三ま 西にふらり
七リ 赤上寺 赤上寺

△^七 宇業宮 ね平より屋敷下

才三まのまね 西流
初也寺 本寺七石四方

安養長馬 西流

近んまのいさろのり

日まんとま修をいさろいあらり
なつらるるハ王ヤハ世にま乃

ハ修るんハ世にやんら
日まんとやんらハ修るん

ニリ

△^ニ 徳次郎

△^ニ 大沢

△^ニ 今市

ニリ 日ま

持尻孫の宮寺 離るる

三品修り入りハ大指来塗ハ修る

△^ニ 今市

日まのいあらり
ハ板指ハ麻沼をうまやわら

△^ニ 板指

△^ニ 文校

いさろ

△^ニ 麻沼

△^ニ あ

△大沢

△今市

ニリ
日光

持沢藤山宮寺藤山宮寺藤山宮寺
三品三品終終入入口口大大指指糸糸塗塗のの糸糸糸糸

△今市

日日光光分分いいああををととととららるる室室八八條條のの中中
板板橋橋のの麻麻沼沼ををととららるるととららるる

ニリ
△板橋

いいるる二二りり

ニリ
△文校

ニリ
△麻沼

ニリ
△あ

三ツ
△主生

一ツ
室乃八徳

大由津乃社あり
種宮あり

また
死見う忌 月くはひぬ

紀伊此乃山

二ツ
△飯田 田見海乃乃

一ツ
△小 山 徳さやかく社あり
仙を海乃乃

一ツ
△中 田

一ツ
佐川野村

法徳寺

△右 城さ本さ中務を備ふ

北四家別七
宗願寺 西流

一ツ
磯部村

東流余る

一ツ
勝輪寺 寺さ九る七

一ツ
御所山さ才了長社所さ北に
少事のかくいあり一里を

一ツ
新地、およ西を社北に
あれが死すといふ村あり

志う村 くらう村

二ツ
山田村

三ツ
恩々村 いさねれ者飯沼とて
ねし乃内く井子

新田二万石を以てありしに因り
 新田に長七里なりとあるも

こりに村 村費村

新地村

弘徳寺 東流にせとる八
 元正の寺あり

村長村 馬場新田

又山新田

三ツ木
 倉持村

又高山願牛寺 此を曹
 元正の寺

三ツ木
 一層の橋の二と下板

三ツ木
 飯沼村

天神宮 社傳
 志土の寺

此の寺は後醍醐天皇の御ち、毎年
 正月二日は檀二奉つて上は榎多
 くの山にたれりるなり

三ツ木
 榎多根村

聞光寺 此を九
 八の寺

此の寺は後醍醐天皇の御ち、毎年
 正月二日は檀二奉つて上は榎多
 くの山にたれりるなり

大田村 此を九
 八の寺

三ツ木
 角山村

三ッ
色田村

西念寺

東流寺を九〇で
七〇から二ナ〇

檀師の遺才自其妙法の道
は北四少事の外に

阿彌陀

聖人の法經乃
少教のり

一リ
二
三
村

妙安寺

東方内保一ニ
八〇から一〇〇

二十四策才成法坊の
まじりあり

大ッ
一乃
谷村

妙安寺 未流

いろえの西福寺とつて
妙安寺とつて先元大寺

二ッ
又村

仁田村

十ッ
中戸村

常敬寺

西流寺を
余にあり

復原道録唯若道坊乃と
ありた四事乃外に

起世乃弥陀二壇像ゆよと
向合子とつて少等と
真を作

一ッ
宝珠花村

江戸川

二ッ
魚ねる村

右川 船通 大戸村

新新田村

リ 松久村

やうに松村より北
と江戸海をく
まらうし川村にあり
いりこ入

リ 下川村

四五下 木賣村

西光院 長吉宗

此寺は乃の松林内外を有
石洞でよく深也

○孫田村の住人として聖人
は自作五才乃の木賣村あり

未訪をわく六木賣村より
全所ニリ全所より孫田

ニリ孫田より江戸海を
ニリあり

リ 糸村 船りし有

リ 板戸村

一リ六下 奥の海を寄る千の江戸
日本橋とニリあり

浅草

高龍山報恩寺 永流院家
五世才一

祖師の寺と云ふは自作の
山本像あり

麻布

龜子山長福寺 西風 院家

祖師の寺才の海坊まで
あり二十四才乃の外之

聖人此社にあり乃の木賣村
を制殊教にあり而して

のり日平後より

△^{ニリ}平川

△^{ニリ}川崎

△^{ニリ}かふ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

△^{ニリ}やぶ川

新所たまは若くは村
にリカ又はふらつて
弘徳寺 西流寺
弘徳寺乃別名と云ふ
をとりて孫金海と云ふ
まこと孫金海と云ふ
弘徳寺乃別名と云ふ
弘徳寺乃別名と云ふ

弘徳寺

金沢 八系乃地

称名寺 津古寺

野村 高あつて孫金あり

横砂村 高あつて孫金あり

大津村 高あつて孫金あり

浦加 高あつて孫金あり

野日村 高あつて孫金あり

五明山 高あつて孫金あり

西流寺 高あつて孫金あり

津古寺 高あつて孫金あり

孫金あり

二
こやほる村
ゆえ防乃母ハ我々の息女
おれとの西人等とて

三
平作村
系也

山口村

八
鎌倉

荏柄天神

宝也 南天海本自在天神

藤波丸六太公

徐伽倫二太公 荻原守

そ介空也いろく

縁とろくを承古縁ハ別死ニ

物ハ縁ハ思之

高田八幡宮
おれや
藤原

光明寺
松園

長谷寺
日ら上人
おらら

建長寺

三
倉田村
そ介空也いろく
おれや
藤原

外龍寺水勝寺

東流

おらら

いさハ祖師 碧山遠西乃寺
と宝也

面掛如來 東人山作

三
山下
面ハ春日明神正作

東海平作大破乃
おらら

善福寺

東流

おらら

龍虎山華水院

東条六右衛門才二下流坊屋
本寺の 庵を人作
西人の本縁山自作正
乃外之庵人進退の地とを

△大磯

東海より取

△園府は村

去樂寺 東流

西人進退五乃地とを
但昨石より九字十字乃
名多あり

園府は相より進下も
二里あり

△小田原

傾下村

長福寺

西流

西人進退才下流坊乃
嫡流山下長福寺の別
二十四年乃外ありま
小田原のゆり

△小田原

板橋村

風系

あり

入字田 山崎村

三枚橋

右ノ陽平温泉
あり

○陽平

あり。寸も人日

○島

日。老う平

日

箱根権現 在るなり

金剛王院

いづれよりなる人との日沙羅を
あそ人もな像守りて言ふ所
坊中六ヶ寺の山本中二百石

御園取 子飛上

△箱根

甲石坂。山中村

。笹原村 三ツ石

。ほう原

ニリ九ヶ

△三嶋 甲原の山四段と事柄する
よのけあふり入

ニリお 二嶋明神社

ニリ 中丸村

ニリ 中山村

いづれよりなる人との日沙羅を
あそ人もな像守りて言ふ所
坊中六ヶ寺の山本中二百石

次走

すむらうらふ富士山乃の東の権現
所食の守富きふ乃の山作の富士
二月未訪の者いふに御りせよ
のちの後に権現社有

吉田

いづれよりなる人との日沙羅を
あそ人もな像守りて言ふ所
坊中六ヶ寺の山本中二百石

小乃波村

ニリホ 二徳明神社

ニリホ 中ノ丸村

ニリホ 中山村

けりまふくしはくまてん次有すま

四リ 下ノ丸茶やは原を焼所ら給ふ

次走

すむらうと富士ふり東の極無之
所金さす富士ふり山師之富士
六月末訪の者いふに海りまら
のちの後る極神社有

四リ 吉田

けりま富士ふり山の極無之甲辰口之ま
も富士ふり極神社有之極

三リホ 小乃波村

二 谷村 谷村 延白結物、重之結同を首

三 美本村

善福寺

けさより白野乃念仏塚
再無らぬ

二 原町

たよ石研あり致書上人
念仏塚あり

さうご村

一 ちてご村

二 善好村

一 駒飼村

一 釣瀬村 山麓園あり

一 横瀬村

一 等か村

一 万福寺 西流

高寺の園東に老僧才あり
とる寺石あり重し人山麓に
しが燈火あり

等か村大徳寺あり
祖師山あり
あり

一 万福寺 等か乃
わねん

一 ちり原

一 府中

甲斐 善光寺 後之村に有

三月廿一日

地蔵仏あり

善光寺 東山所

一切経あり

四リ 軟沃

おらね村 西修村

子打飯

ニリキ 切石

四日市場村 いふね村

大村 子川

三十一 下山村 下山山奥院にあり

身延山奥院

祖師堂 法苑宗の祖本と云

身延 久遠寺 浄土之寺

西軟地を 中祖師を

身延町 藤野門洞會所

三リ 南郡

あし川 古橋有

三リ 万石 万石松野ハ村奥側

龜割坂 退方村

ニリ さく川

ニリ 完原

ニリ 小河内 小河内と奥はり
さく川、出り

ニリ 貞津 東海より取ん

信覺寺 信人の妻の地を
寺に之を名

一里山 いれやま

一里山 江尻 いれやま 江尻

岩原村 一里山村

小倉田村 粟束村 くり

古庄村 横田

ニリ 庵中

とろく 嶺名あり

安部川 安部

子越村

一里 丸子

宇波乃谷 宇波乃谷

宇波の谷作在り
地をあり

横谷村

ニリ 忌部

八坂村 横内村 横内

△^{ニリ}府中

。とろく

地名あり

安部川

あり

子越村

△^{ニリ}丸子

。宇津乃谷

とろく
名あり

宇津乃谷の谷作 右より
地をあり

△^{ニリ}横森村

△^{ニリ}長部

八坂村

横内村

あり

。水守村

可井平
△茂枝 城 本名松巻也

蓮生寺 末流

此寺乃中緒元極寺
くり

瀬戸川 麓 志道村

水乃上村 瀬戸川

。三軒至 志道山村

可井平
△鶴田

向鶴村

大井川 志道村乃法入
水上住民志道也

八百五町

△全谷

牧原村 牧原城跡在乃志
尺中

。兼川村 兼川橋あり
名あり

。依坂中山 名あり

。新茶屋

可井平下
△日坂

官村 志道八幡社あり
山本平一町名

塩井川村 志道金持記在
川乃中上流也

大井川村。山花村

成瀬村

一リ世九下
△掛川

城之高掛はちた

福田山度もろ

山をさるる者
東にちみりる

いそむ者孫系は福田村よ
ありし時屋人園ありあの
ざりありは正徳かへりし
寺僧を人入の正徳化と云ふ
別山寺子と云ふは存いし人
後時室を屋人山寺阿比陀
是如上人山寺光ぬ子蓮も
織物化銀鏡乃南んす者

二瀬川村

名系 古橋者

大池村

カリと村

原川村

名系 古橋者

ふらり村

名系 古橋者

久保新村

のち村

△袋井

本原村。西橋村

二番野村

修あり
名系

久久保村

△見附

又身は池田村、新末のり
今も諸人をあそび

中家村。久宗院村

長森村。池田村

名系 古橋者

天龍川 和わさ

中乃西村。安岡村

橋場村。天神西村

濱松 城之松平富之助と云ふ

普法山長云寺 東流

此の山を人國宗の山と云ふの山腰
柳の邊に菩提の石ありては法用寺

美林村 志塚村

。松條原村

。蘇坂 往昔の蘇坂といふ

海上 船渡一程三百五十文船の蘇井
蘇坂をさしては蘇石を

伊園取 吉田城と云ふ

。荒井

橋幸村 わさて村

。元白砂が 塩又坂 名不

白須が

猿ヶ澤 かしのり

境川 名不のり

。一里塚

二川

。夕暮村

長田

城を平伊守守
七万石

沙掛取

東流
中土平

下地村

よへ

小坂井村

系五所

櫻町

良
四府

沖油

赤坂

長谷村。宝蔵村

宝蔵の東照社
長谷村の南に在り

元宍村

山中村

三九一
長川

かんたな

生田村

平地村

光顔寺

西流
寺を九石

大平村

大平川に在り

大平川の南に在り
大平川の北に在り
大平川の東に在り
大平川の西に在り
大平川の南に在り
大平川の北に在り
大平川の東に在り
大平川の西に在り

如意寺

永念山

如意寺の南に在り
如意寺の北に在り
如意寺の東に在り
如意寺の西に在り

つゆのりま
長海

水野織姫

十五町柳

西照寺

東流
寺に七のり

文作橋

二のり

せきこのり

勝蓮寺

東流
七のり

宝地
入る人六のり

末子村

院法石

明眼寺

三白流
十のり

聖人
本像
寺に
自作

上官寺

東流
寺に

修
本村
一
り

勝曼寺

東流
院家

計
ゆ
り

中の口村

淨妙寺

東流
院家
同
寺
聖
人
の
子

本證寺

東流
院家
之
院
に
ま
り

同
寺
教
堂
本
を
七
の
り
に
ま
り
に
ま
り
に
ま
り

少保村
保之口村

東畑村

西畑村

愈仁寺

西流
在
東
流
寺
に

本
を
七
の
り
に
ま
り

蓮
師
山
自
畫
乃
像

愈
仁
寺
蓮
師
山
自
畫
乃
像

二
年
以
迄
西
流
寺
に
ま
り

ふさきいあしりまねい
此裡相宗のよる下は今相と
あしり身ぶらふ多しつゝまはあしり
野ふとらて野寺村のり有い下
まねいあしりあてあしり

今村

身起り此寺の僧人

けり此は今村氏家今名より此裡の
おとあしりまねい此裡の名方僧人あて
おとあしりまねい此裡の名方僧人あて
おとあしりまねい此裡の名方僧人あて
おとあしりまねい此裡の名方僧人あて
おとあしりまねい此裡の名方僧人あて
おとあしりまねい此裡の名方僧人あて
おとあしりまねい此裡の名方僧人あて
おとあしりまねい此裡の名方僧人あて
おとあしりまねい此裡の名方僧人あて
おとあしりまねい此裡の名方僧人あて

今村が二り

ふるみ

笠寺

右の方笠寺に
おとあしり

二り

あつては社 右社人

名古巻

東沙坊

右を十に
十二

西沙坊

右を十二
に方

操井所

圓通寺

右を
九

七寶山聖徳寺

右を十
に方

宝地有人乃新境
西邊境乃内

新後寺村 中下海老を分入
に遠及

松原系後寺 小田流系系
此七方内方

高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而

名古やが一リ

小田井村

西方寺

東流江を六方

高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而
高島流古系系人型人二田川迄而

北丁系
△流例

高島流古系系人型人二田川迄而

一リ
△福葉

一リ
△秋系

一リ
△記 せうし川と越中子入
十行 せうし川と越中子入

竹 白果 ゆる

東坊

西岸をとし

足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を而としハ一里の
足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を而としハ一里の
足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を而としハ一里の

足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を而としハ一里の
足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を而としハ一里の
足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を而としハ一里の

足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を而としハ一里の
足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を而としハ一里の
足を村西方系系流すりハ
竹鼻より南を而としハ一里の

雲役川

紅い

一リ
△星役

河せをさ入

満福寺

東流

△天垣 城を戸田系系正

けりやまのたき... 瀬川の堤より分れて北に下余あり

水原寺

寺領あり
七つにや

宝物 祖師の自筆あり

又換り

二ツ
垣田村 五ツ野原

△^{二ツ}壘井

○野上

聖母さまあり

一ツ

△園ヶ原

長濱沙坊へうんけり
らるわらふけいともろくわ田
海をわらへり

不破 多摩川
実山の邊

水原全り

山 とら
墓あり

石田村

△今次

一ツ
平井のむらさき
あのかんまあり
平井村

七条村

長濱

祖師さまあり

沙坊あり

宮殿切縁

一ツ
美濃と江の
塔あり

△^{一ツ}柏原

わらわら村

長とぬかき長く
陸代も和法も四
リ有れよ八松町
宗一殿あり
湖より石垣あり
竹槍陣乃徳あり
若原ハハらあり
入り

△^{一リ}醒る井

あまのつる日守草
はこつ掛石あり

石井村

むくら村

あまのつる村

△^{一リ}中表場

まらんの津

△^{一リ}あまのつる

地蔵堂村

是のまをたは一
りまのつる人出世

△^{一リ}あまのつる宮

町中にまのつる社
をまのつる

はら町 出町

四十九院 茶をわり

唯今まのつる上東流は山
よわらど教如く人のまのつる

石昌村 枝村

△^{ニリ}あまのつる知川

宝満寺 東流
はまのつるをまのつる

小幡村 所登村

老宿村 長わりの茶

あまのつる村

二リ
△武佐

野寺村 馬淵村

位蓮坊墓下
田中よのり

一リ
△横関村

一リ
△かづん

い宿より二リ徑初ては原原乃
はよよ未終は石碕者之十丁有

長原町村

本郷村

錦織寺 山を丸るする

お寺より麓浦か上りハわき
は長一丁ハ寺堂ははくは川原

本郷村より今をうたはし路ハ
一リ寺をど有をまきハ久を

出たは、松のまバ格別を
守ふ、つらまハ甲申丁有

全う表 は傍

吾龍寺 寺をまき
ハり

石赤坊乃ま踏ん
全う表よりまふハ丁あり

二リ
△守山

一リ
△草は へそ
綾村 忍川村

一リ
△草は

勢の田 長くハ集のつては
しるをみおするあり

膳取 砂城

△大津

三井寺 五丁

東坊

近松坊

。園乃清水。走井

。遊方 京師人、遊方之

。どろろと茶を

合石研わり

山科坊 西東坊よりあり

蓮如上人の墓所、永らく寺有

いしころりたる茶をくしひ

茶、新又三系、くしひの

江戸から四葉、赤詣

江戸の路

浅草、藤田、本賣

中戸、一乃若、三村

長次、色田、狭野根

倉持、新地、結城

多田、下妻、石下

大草根、筑波、柿岡

大寺堂、板倉、福田

完戸、子以、富田

右乃乃村々はいおよま遷江屋

送り守野よ子はく教ふは

富田の口之川橋と云入り

船船を麻島はるばると

又羽生とふ不才乃船船

麻島船とと教ふ先は風

悪貴又宗合をよ町人

て強後するは富田の島

子田の船船乃都合し

船よ宗又悪貴の麻島

多葉 赤嶋 經松

湊 ^{水戸}坂戸 ^{水戸}庄町

河智田 大郡 松原

額田 川合 谷川原

久保 東邊 石以

大畑 籠子 鳥山

竹部 金沢 棚倉

日笠 宇保宮 室八傳

花見巻 佐野 古川

磯部 中田 出江 戸

石乃乃 村乃 法

送子 宇野 子

小富田 坊口

新船 麻島

又羽生 宇

麻島 坊口

要費 又

子田 坊口

船 又

船 又

初はつのつらら一いち松しょう一いち段だん信しんのの印いんののまま
羽は生せいののらら一いち段だん信しんののままののままののまま

彌念ニリのの日光にっこうのの法はう

彌念ニリ金山ニリのの岩いわ

彌念ニリのの伏ふし六むのの大田原おほのの

彌念ニリのの吉成きちなりのの大おほ

不入ニリのの大おほのの今市いまち

日光山にっこうさんのの宇うははのの法はうののあり

海うみののあり

右みぎのの跡あと二に十じゅうのの筆ふでのの蹟あと

其そののの法はうののあり

委あづかののあり

法はうののあり

其そのののあり

其そのののあり

其そのののあり

其そのののあり

其そのののあり

其そのののあり

右印四跡二十四筆順踏しゅうしやくせき

其取立村まのとりたむらにしく

委くわをあづくのあ方かたへあるる

はは毎まい之の考かん合ごうをあひあせせく

そのくくをあづくをあづくをあづく

ああをあづくをあづくをあづく

くくをあづくをあづくをあづく

ああをあづくをあづくをあづく

ああをあづくをあづくをあづく

宿しゆく驛えきのの格かく別べつにに置おかかすす

秋のての具一取てそるる
二里のりとしふ人のまじり
里のまじりまののふり
すしげり多し
叔又取てそるる
物流るる
事繁るる
を因り地名事跡一果の
聞誤るる
乃人の改正とゆるる也

遠州掛川

江玉堂楓司述

寶曆五年乙亥歲

二月上旬始

七月五月下旬より終

増田北驛

庄子屋

代山

丁...
叔又...
物...
事...
...
...
乃人の改正と...也

遠州掛川

江玉堂楓司述

寶曆五年乙亥歲

三月上旬始

十八年

七月

五月下旬迄

增田北驛

庄子屋

代山

摺取抄 二冊 出来

遺徳法輪集七冊 出来

二十四輩記 七冊 出来

右に三書ハ所集の記等々未奇之選
故より由是之在室也道法抄以之
あれと記ス

寶曆十一年庚辰年正月廿九日

京都書肆

引子
寺町三条上町

京都書肆

より八や乃八

止四輩記圖 一枚 摺 出来

同巡道記 一冊 出来

右ハ傳四波の戸より号乃九也

信

信

信

信

信

信

信

庄司屋

代山

故子由是... 道法... ありと記す

寶曆十一年庚辰年九月廿四日

京都書林

寺町... 宗...

京都書林

より... 八



止四輩記圖 一枚摺出来

同巡道記 一冊 出来

本八... 記す

信... 観... 尊... 親...

庄司屋

代山



